

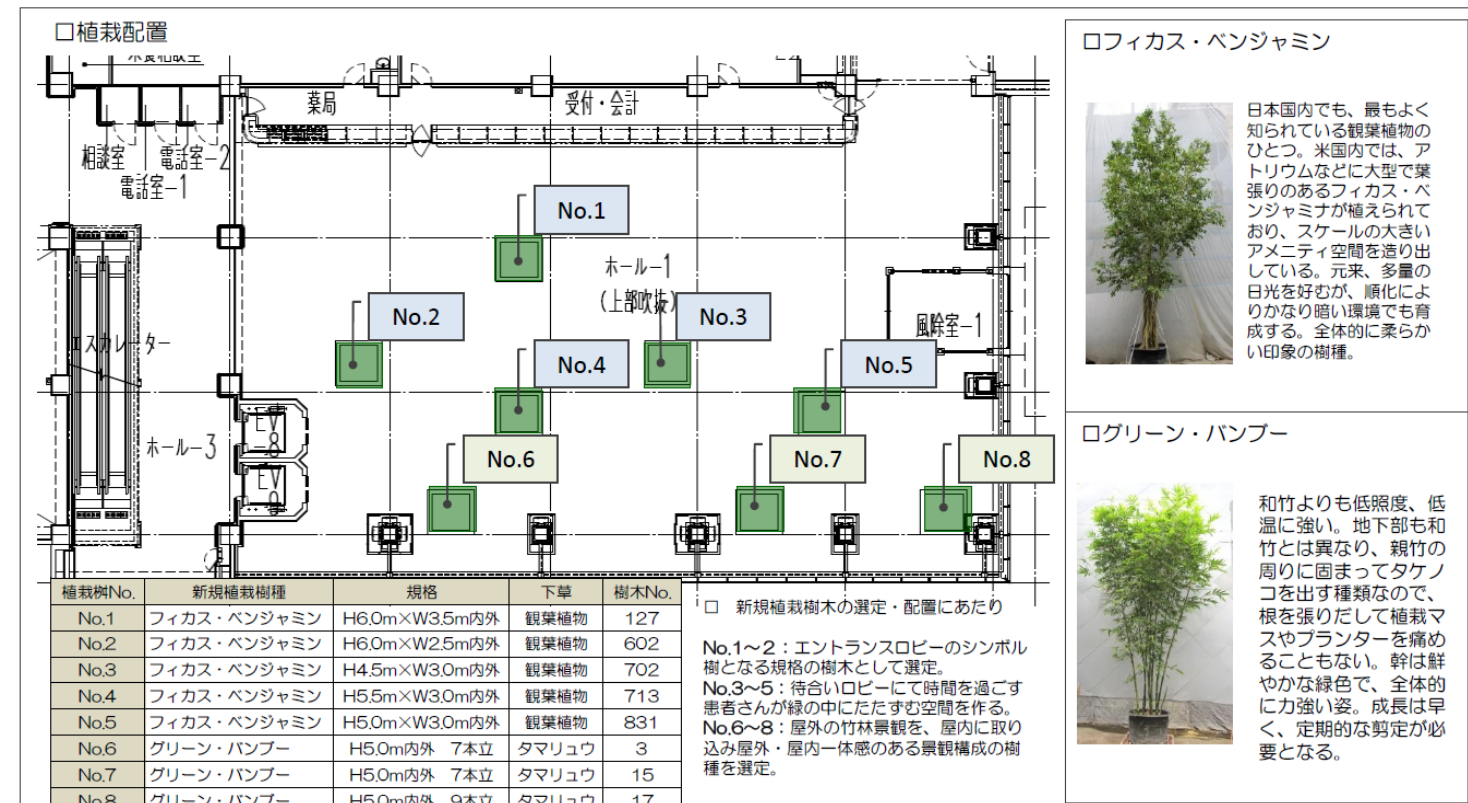
屋内緑化コンクール 2015 作品部門

屋内緑化推進協議会会長賞

| | |
|--------|----------------------------------|
| (フリガナ) | シヨウナンカマクラソウゴウビョウイン アトリウムロビーショクサイ |
| 作品名称 | 湘南鎌倉総合病院 アトリウムロビー植栽 |
| 所在地 | 神奈川県鎌倉市 |
| 応募施設 | 病院 |
| 完成時期 | 平成 24年 3月 31日 |

○作品の概要

病院のエントランスを入ると、4層吹き抜けのアトリウムロビーにスケール感のある緑化空間が目に入ります。病院の総合受付と来院者の待ち合いロビーが配置されるアトリウムロビーでは、誰もがゆったりと緑のある空間で時間を過ごしています。アトリウムロビーには、高さ 5.0m を超えるフィカス・ベンジャミンやグリーンバンブーが配置されています。アトリウムロビー全体が、樹木に囲まれた空間となり樹木から感じる生命力を、来院される方々や入院患者、病院スタッフが緑を共有することで健康を取り戻し希望のある場の礎となっています。フィカス・ベンジャミンは、H5.0~7.0m の高さをアトリウムロビーに点在させて、森をイメージした緑量を確保しています。グリーンバンブーは、H5.0m の株立ちを窓際に植栽し、外構植栽のモウソウチク林を借景として竹林の連続性を表現しています。



□フィカス・ベンジャミン



日本国内でも、最もよく知られている観葉植物のひとつ。米国内では、アトリウムなどに大型で葉張りのあるフィカス・ベンジャミンが植えられており、スケールの大きいアメニティ空間を演出している。元来、多量の日光を好むが、順化によりかなり暗い環境でも育成する。全体的に柔らかな印象の樹種。

□グリーン・バンブー



和竹よりも低照度、低温に強い。地下部も和竹とは異なり、親竹の周りに固まってタケノコを出す種類なので、根を張りだして植栽マスやプランターを痛めることもない。幹は鮮やかな緑色で、全体的に力強い姿。成長は早く、定期的な剪定が必要となる。

○作品のアピール点

これまで、病院内の緑化は人工樹木の利用や、プランターによる植栽が多く見られました。「病が根付く」や「害虫の発生」など、生木の高木を多用した植栽は敬遠されてきました。湘南鎌倉病院では、「樹木から得る生命力」「憩いある空間提供」など、緑の効用をプラスと考え大規模なアトリウム緑化が維持されています。事例では、照度順化されたタケを導入するなど、屋内空間であり見ることができない樹種を使用しています。アトリウムロビーの樹木が、入院患者様や外来患者様と病院スタッフとのコミュニケーションの場として活用されています。



○緑化システム

アトリウム内部は、フィカス・ベンジャミン（高さ 5.0~7.0m）を 5 本と、グリーンバンブー（高さ 5.0 株立ち）を 3 株植栽しています。開口 1.8m の植栽ピットに人工軽量土壌を敷き込み植栽をしています。使用した樹木は、養生用ハウスの内部で順化養生を済ませたコンテナ栽培された樹木を利用することで、植栽導入時からボリューム感のある葉量を確保しました。